

村の世帯・人口

昭和49年11月末日現在

総世帯数 2,653戸

人 口 11,932人

男 6,029人

女 5,903人

11月の人口移動

出生 17 死亡 6

転入146 転出 54

婚姻 17 離婚 0



広報にはら

三、告知板

- 一、あなたも「新聞奨学生へ」……………7
- 一、中頭地区青年リーダー研修報告……………8
- 一、貯金通帳の盗難に御用心
盗難届はすぐ郵便局へ……………8
- 一、ゴミ、し尿処理料金について……………9

二、村民の広場

- 一、沖縄県の畜産振興のため
第一回県畜産共進会本村で開催……………2
- 一、年末は火災のシーズン……………3
- 一、第二回歩こう歩こう運動……………4
- 一、村婦人会の役員決まる……………5
- 一、翁長チーム二連勝
(第二回少年野球大会)……………5
- 一、歳末特別貯蓄増強運動……………6
- 一、ビール・タバコ・不良雑誌等の
自動販売機を村からなくしましょう……………6
- 一、村へ道路標識の寄贈……………7

一、村政情報

- 一、村産業展示会にぎわう……………1
- 一、国民健康保険運営協議会委員の委嘱……………2

発行所
西原村役場
電話 (098995) 5011
5013・5012
印刷所
桑江印刷所
電話 (098995) 2365

火事・救急の電話は、兼久、与那城、我謝、安室、桃原、池田地域は 5109 番へ
その他の地域は 119 番へ

村政情報

恒例の村産業展示会

一、五〇〇人余でにぎわう

去る十一月三日から十二月一日までの二日間、村主催の恒例の産業展示会が開かれ、めぐまれた天気もあって二五〇〇人余の村民が参観し盛況をきわめた。

展示会の開催は農業及び農産加工その他の振興を図るための技術及び情報交換等がネライ。

展示会は村役場ホールと庁舎前広場で催され、出品物は農産物七十三点、農産加工品百九十二点、手工芸品百二十二点、花木盆栽二百点、等例年になくにぎわいを見せた。

その他、会場には特別展示の村老人クラブの作品(四十六点)や村役場写真同好会の写真展などが花を添え、参観者から好評を博した。

展示物は種目からすれば例年とさ程変化は見られないが、内容の充実さははっきり、うかがわれあたり一面、キャベツ、ダイコン、ピーマン、あるいは自家製の農産物を利用した漬物、つくだ煮、ジャム、みそ類の加工品がうめつくされ、参観者は「すばらしい」を連発していた。

展示会場では、展示された作品の即売も行われ、野菜等は市価の半値という大サービスで好評のにわかに市となった。

出品物は厳選な比較審査が行なわれ、農産物二十一点、農産加工品二十七点、手工芸品十二点、花木類十四点が入賞、さらにその中から七点の優秀賞と一点の県農林水産部長賞が選ばれた。

晴れの県農林水産部長賞には、ピーマンを出品した我謝の小橋川貞吉さんに輝き、優秀賞に輝いたのは次

の方々。

▲農産物：儀間盛保(掛保久、大根)
石原昌一(上原、キャベツ) 平良街正(我謝、人参)

▲農産加工品：西原カマド(棚原、パヤジャム) 比嘉千代(幸地、白みそ) 城間信子(兼久、ピーナツクッキー)

▲手工芸品：玉那覇チエ子(小那覇、子供用ベッドカバー)

▲花木：玉城受郎(兼久、大菊) 外間久一(兼久、クロトン)

▲西原村花木同好会長賞：宮平光雄(与那城、小菊)、弓削次男(掛保久、カトレア)



にぎわう村産業展示会

国民健康保険運営

協議会委員決まる

去る十一月二十九日午後二時から村役場で国民健康保険運営協議会の委員の委嘱が行なわれました。

委員の任期は二カ年で、その間、村長の諮問に応じて①一部負担金の負担割合に関する事項 ②保険給付

の種類及び内容に関する事項 ③その他国民健康保険事業の運営に関する重要な事項、等を審査することになります。

次に委員を御紹介します。(敬称略)

▲医師薬剤師代表
新里 吉一(新里耳鼻咽喉科)
沖縄市胡屋二十一番地
久志 助義(久志歯科医師)
宜野湾市普天間五三二

▲被保険者代表

玉那覇 馨…小那覇八四番地
外間 正栄…幸地一〇四一番地

▲公益代表(村議会議員)

中山 正徳…小那覇六八番地
稲福 恭助…上原二四五番地

村民の広場

沖縄県の畜産振興のため

第一回県畜産共進会本村で開催

秋風がほを冷たくさかなでする
広大な南西石油ランド…。

あたり一面一変し、堂々とした体
の牛と豚の集う所となった。

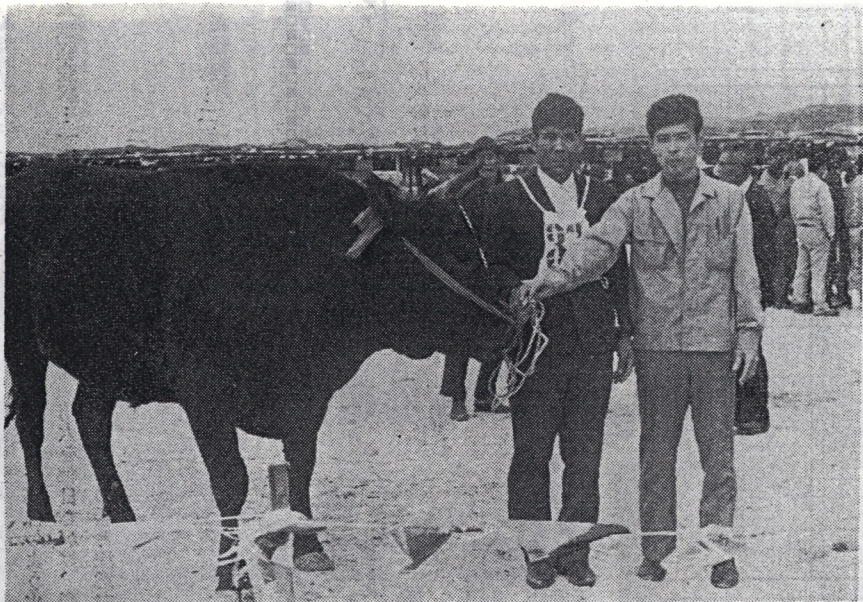
沖縄の畜産業の危機が叫ばれてい
る昨今にあつて、県畜産共進会協
議会は、畜産業の育成強化のネライも
含め、去る十一月十二日から十四日
までの二泊三日間、本村小那覇在の
南西石油ランドにおいて画期的と
も言える第一回沖縄県畜産共進会を
開催した。

各市町村では例年何らかの畜産共
進会が開催され各部にも開催されて
いたが、県段階での行事はまだな
かった。

それだけに今回の第一回県畜産共
進会開催の畜産振興に果す役割が各
方面から期待されている。

一日目、二日目と審査が行なわれ
最終日は県、県議会、沖縄開発庁か
ら多くの来賓の列席する中で、午後
二時から褒賞授与式が行なわれ、三
日間わたる共進会の幕を閉じた。

大会は、成功裏に閉幕したが畜産
振興の大きな飛躍を期すためには、
今後、増々、県の政策的なバックア
ップが必要、とは多くの畜産業者の
声。畜産の価格変動があまりにも激



肉用牛(去勢牛)の部で見事優等の牛と
与那嶺栄幸氏、右端は小川村産業課長

しい昨今では、望みを持てる畜産業
の将来はとうていあり得ない。

今後、畜産業者の団結と畜産経営

の改善、等かかえている課題は多く
厳しい畜産の現実にあつて、いっそ
うの発展が有望される。

共進会では本村から出品した牛、豚も、相当優秀で多くの入賞者が出ました。

特に字幸地の与那嶺栄光氏、所有の肉牛の「去性牛」の部に出品した牛は見事に優等を獲得、畜産局長賞、沖縄県畜産会長賞、沖縄県家畜登録協会会長賞に輝きました。

その他の入賞者は次の通りです。

(敬称略)

▲未經産牛…二等賞—喜屋武善吉

▲經産牛…二等賞—宮城正勇 (池田)

▲肉用メス牛…二等賞—野国昌敏 (小橋川)

▲未經産豚…一等賞—石原昌英 (池田)

二等賞—安座間喜永 (森川)

▲經産豚…二等賞—城間政保 (森川)

(兼久)

生活の一部にしよう火の点検

認等、防火のため常に点検をおこな



難経路の確らないよう注意しましょう。
最近の本村における火災発生状況は別図の通りです。
生活の一部にしよう火の点検、防火を毎日心がけ、楽しい生活の保障を自らの手と注意力で…。

年末は火災のシーズン！

秋から冬にかけては空気が乾燥しその上に、年の瀬は、あれやこれやと人の心が浮わつて注意力が減退し、例年、火災による惨禍は後を絶たない。

こうしたくり返えしに注意を呼び起こそうと、去る十一月二六日から十二月二日にかけて秋季全国火災予防運動が展開された。

主催は沖縄県総務部、及び沖縄県消防協会。

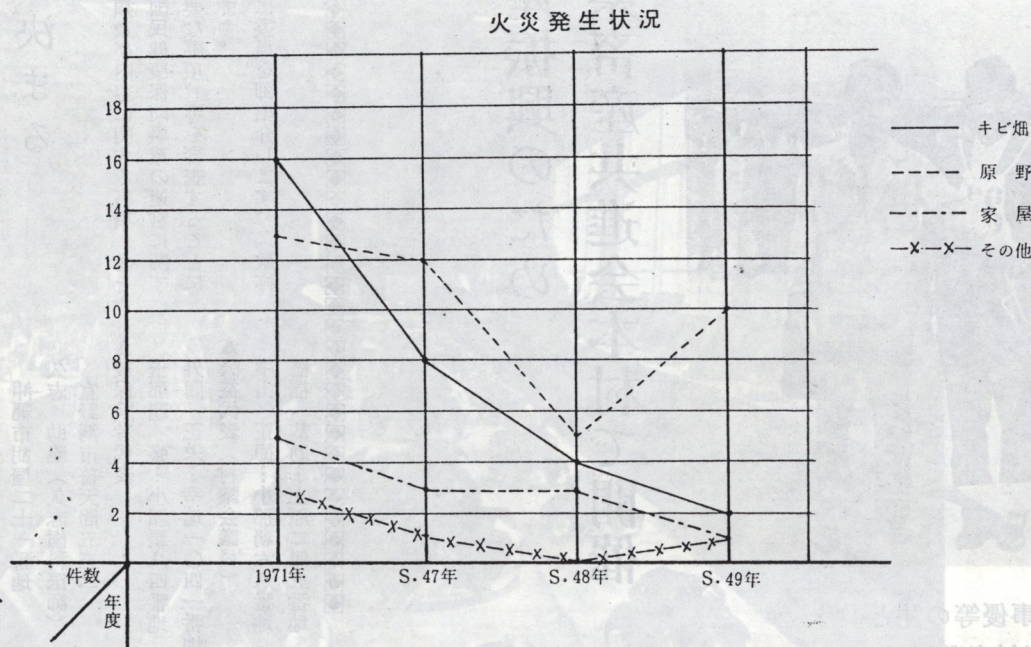
運動のネライは防火意識の向上を図り、火災の発生防止と人命損傷事故の防止を徹底するにあります。

火災は、ふとした気のゆるみから大半は起こるものです。

家庭においては安全点検として①暖房器具の安全点検 ②老人、幼児、病人の就寝場所の点検 ③たばこの投げ捨て、寝たばこの防止 ④消火用具の準備、等に今一度注意しましょう。

また職場においては ①指定場における喫煙の徹底 ②火気使用場所の整理整頓 ③通報連絡の徹底 ④消火設備の使用方法的習熟 ⑤避

火災発生状況



第二回 步こう步こう運動

老人、大人、子供みんなで

テクテク步こう 步こう

——ポカポカ陽気の秋末のころ……

去る十一月二四日、日曜日、午前

九時から第二回、步こう步こう運動

が行なわれた。

秋とは言え日昼は夏を思わせる暑さには、参加者みんながマイッタ、マイッタの様子。

今度の步こう步こうには八〇余才のお年寄りから二才の幼児に至るまで広範の年齢層が参加し、大にぎわい。その数、ざっと四〇〇人。

昨年から村教育委員会、村青少年健全育成協議会の主催で催された、車万能時代への挑戦、步こう步こう運動も、早や村民的な行事として定着のきざしがかがえる。

その日の参加者は九時半に村役場前を出発し、小那覇、嘉手苅、掛保久、内間、小橋川、津花波、上原、翁長、幸地と各部落を走破、約八キロメートル余にわたって、大きな足、小さな足等、想い出の、そして健康を勝ち取るための足あとを無限にきざんで行った。

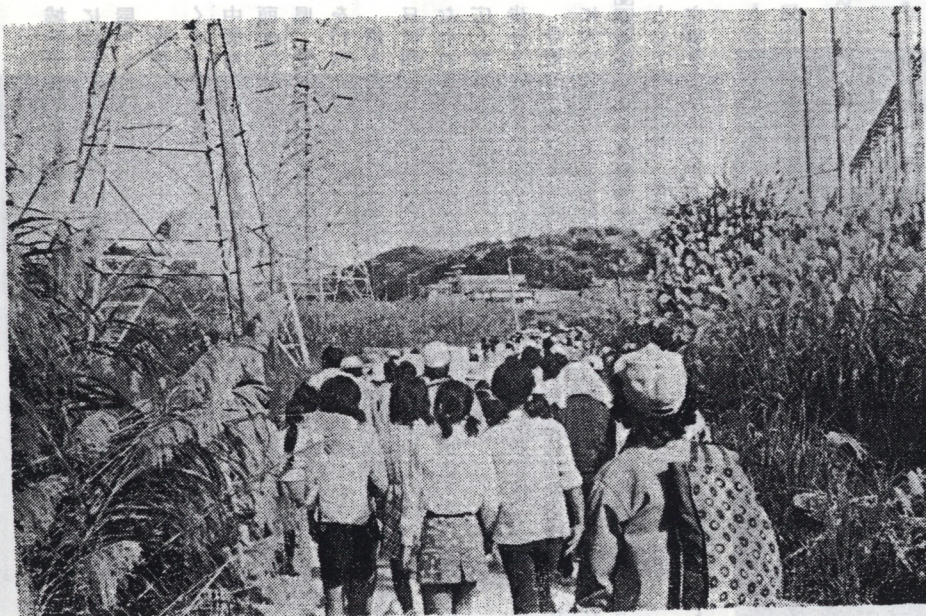
十二時半ごろに最終目的地の西原中学校に到着し、楽しい、その日のハイライト、弁当時間となる。みんなが、日の丸弁当のように、テカテカ陽気な顔となり、今まで歩いた疲れなんか全然ないよ、といった表情。

食事の後は村老人クラブの会員がすばやくリードして楽しい、汗水節や、その他の踊りを、みんなで乱舞。その他準備したレクレーションに、みんな想い想いに遊び興じた。

丁度、その日は、中頭郡青年団協議会の第十二回、郡駅伝大会が行なわれ、西原中学校前が第七区の中継

地点となっていた。
本村の青年会代表も当然駅伝大会に参加しているとあって、步こう步こうに参加した人たちが繰出で応援。
折しも力走してきた内間出身の与儀選手は万雷の拍手にびっくり。雲の上を歩く感じの表情で次走者、与那城出身の新垣選手へタッチ

新垣選手も、いいとこ見せるはこの時ばかりと、力走、又力走。見送る何百人という応援団、「彼、大丈夫かしら？」と笑いと不安の声、又声……
その後、グラウンドに再び集った参加者全員、時間の許すかぎりいろいろなゲームで楽しみ、意欲ある一日をすごした。



步こう 步こう、長蛇の列

村婦人会の役員決まる

いろいろな問題をかかえて混迷を続けている村婦人会ですが、何とか今の低迷を乗り切ろうと、十月二十六日、午後二時から、村役場ホールで理事及び支部長会を開き、新役員を選出決定しました。

青年、老人とそれぞれ民主活動が活発な中において、特に広範な会員を有する村婦人会の活動が低迷をきわめ、村民の間でも、何とかして欲しいという声がしきりだった。

それだけに今回、新役員が選出され、力強いスタートを切ったことで村民の村婦人会活動の今後に対する期待は大きい。

新しく会長に選出された方は、大

城静子(字小橋川)さんで、副会長には玉那覇加代子(我謝)さん、呉屋きくえ(小橋川)さんの三名。

会長になった大城さんは、さつき十一月十二日から二十三日まで、中頭地区社会教育主事協会主催の中頭地区婦人国内研修に参加し、香川県、愛媛県の婦人会活動の視察研修を行なってきました。

婦人会ではさつき十一月二十七日に西原村、村教育委員会主催で行なわれる体力テスト及びレク研修に広く婦人会に呼びかけ力強い第一歩を...と考えているとのことでした。

今後の村のウーマンパワーの活躍に大いに期待しましょう。

として行なわれ、宮平幸吉社会体育主事を中心に力を入れて取り組んで

いるもので、第一回大会から、村民の間では相当好評を受けているスポーツ大会。

チームは小学校一年生から中学校三年生まで、それぞれの学年から一名の代表を出し、結局九人編成。

小学生、中学生が力を合わせてのチーム対抗とあって、どの試合も暖かい友好のムードにあふれ、つめかいた兄さん姉さん、父さん、母さんの応援も加わってグラウンドは、歓声と拍手のウズだった。

激しい勝抜き戦の結果決勝にコマを進めたのは、西原ブレイブス(西小の選抜)と昨年優勝の翁長Aチーム。

決勝戦は、夕日が西に沈みかける日暮れ時の対決となった。

ここまで来ると選手たちは双方とも疲れ気味。後は「ガッツ」の勝負となった。

試合は、優勝戦らしく激しい打撃

翁長チーム二連勝をかくる 第二回少年野球大会

「フレ
1、フレ
1000
0」

「カッ

飛ばせ、

カッ飛ば

せ〇〇」

と応援の

声も高ら

かに、さ

わやかな

秋風を一

身に受け

去る十一

月十日午

前九時か

ら、南西

石油グラ

ンドにお

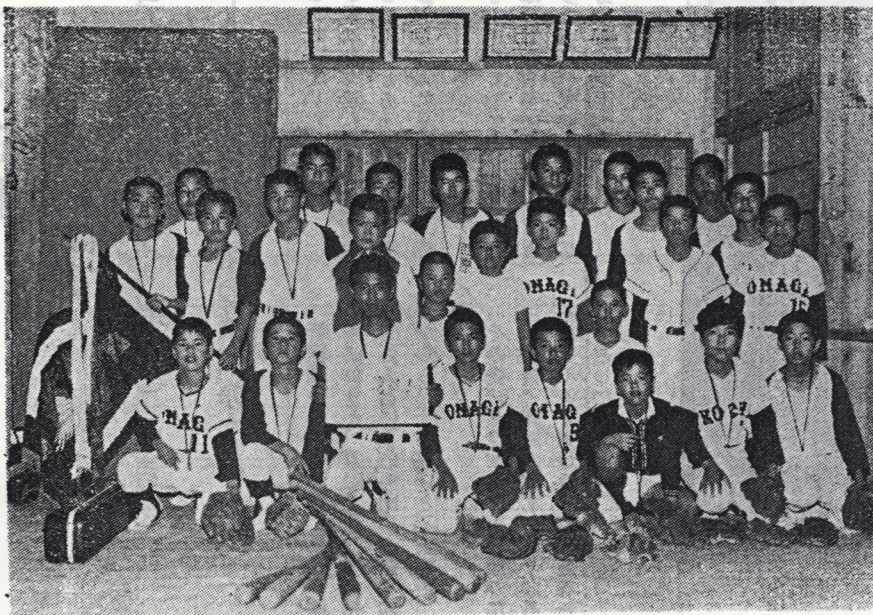
いて、村

教育委員

会主催の第二回少年野球大会がにぎやかに開かれました。

参加チームも昨年の第一回大会の十六チームより、二チーム多い十八チームで盛り上がりのある大会となりました。

同大会は青少年の社会教育の一環



二連勝に輝く翁長チーム

戦となり、九対五の日沈ゴールドゲ
ームで、昨年に次いで翁長Aチーム
が見事に二連勝をかざった。

さわやかな、いくつもの名勝負を
残して少年野球は、無事第二回大会
を終った。

この大会を通して、何を少年たち
が学んだかは誰もはっきりとは知ら
ない。

しかし、彼等は知っている。友情
とふれ合いの楽しさと、すばらしさ
を。

帰路に向う少年たちを後から見守
る父兄の瞳にも、言い知れぬ自信と
期待を、感じさせるそんなすばらし
い大会でした。

まさに、今もなお、「少年よ大志
を抱け(クラーク)」である。

歳末特別貯蓄 増強運動

十二月一日から十二月三十一日は
沖縄県貯蓄推進委員会の主催で歳末
特別貯蓄増強運動が行なわれていま
す。

「備えあれば憂いなし」とは永年
貯蓄奨励の合い言葉として、私たち
の口から口へと語られたものですが
今でもその正しさは変わりません。

物価高騰のおり、とても貯蓄なん
て、というのが正直でしょうが、我
が家の為の備えとして、生活に工夫
をこらし、可能な限り貯蓄につとめ
たいもの。

・油断大敵
いざというとき
ものをいう貯蓄。

ビール・タバコ・不良雑誌等の 自動販売機を村からなくしましょう

現代社会はよく消費文化の世の中
と言われます。

ちなみに私たちの日常生活を考え
てみましょう。

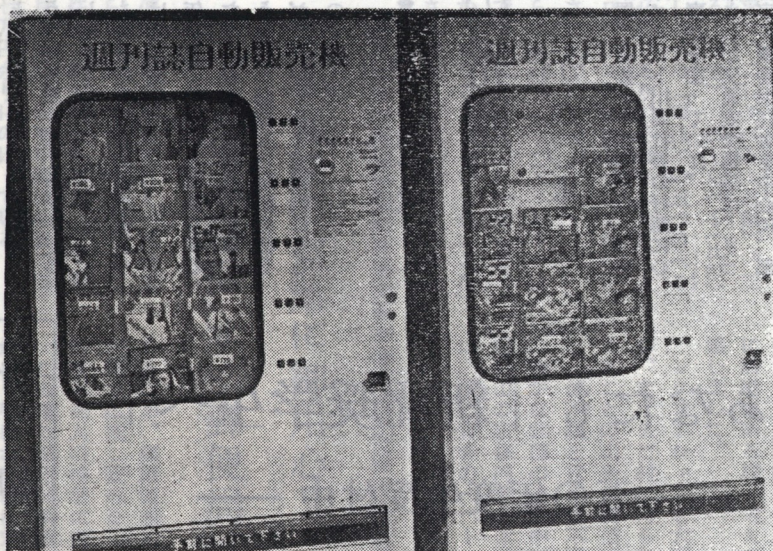
近ごろ、あまりにも便利さのみを
考え、それから起きる新しい問題を
忘れがちなのは。。「。。大バー
ゲン」。「。。特別サービス」。「。。
新発売」。「。。月賦セール」等々消
費意欲をそるようなコマースナル
だらけです。

しかし、それでもそのことが私た
ちの日常生活に健全な形で寄与する
一面を持っているとすれば、まだし
も問題とは言えないでしょう。

ところで私たちが、この消費にう
かれた毎日を時代の流れと一様肯定
したとしても、深夜、酒やタバコの
自動販売機に群がる児童生徒を見か
けた時、あなたはどうか感じるでしょ
うか。これも消費文化の必要な現象
の一コマと、消費者のあなたも、販
売者のあなたも、ただ、ただ是認す
るだけでしょうか。

青少年の健全育成の必要性は、村

民のいたるところから叫ばれて久し
くありません。また、その為の努力



店頭にある自動販売機

も、学校教育、社会教育、家庭教育
等々、それぞれの時と場所で毎日み
なさんが努力あるいは協力している
ことです。

青少年の健全育成には、もうこれ
で終ったという終点がないことはも
ちろんですが、また、青少年の指導
育成の面では「他人の子も、我が子
のように」という基本から出発す
ることも、みなさんもすでに知ると
ころです。

現在、他県では、もう自動販売機
万能の社会となつてしまい、それが
もたらした問題も百出の状況です。
ひるがえって私たちの村を見た場
合、すでにそのことが「対岸の火」
として決してのん気に構えておれな
い状況にきています。

もちろん自動販売機のすべてが悪
いと言っているわけではありません。
しかし、酒やタバコ、ビール、は
ては不良雑誌までも、たやすく手
に入れやすい状況は、やはり健全とは
言えないはず。たとえ大人が利
用するにしても主に深夜の便利を図
ることで設置される、不必要な種類

直接お問い合わせの際、御利用下さい。

壽末割眼守舊

中頭地区青年リーダー研修報告

小橋川 聡

去る九月二七日から二九日の二泊三日、名護青年の家で中頭地区教育委員会の主催で青年リーダー研修会が開催され、西原村から宮平博好君、城間藤子さん、与那城初江さんと、僕の名が参加しました。

研修会は、主に青年活動のリーダーとしての必要な知識、技術、態度、等について学びました。

研修会はいくつかのテーマをかが、それぞれのテーマで担当の社会教育主事が、まず討議導入のため講演をし、その後グループに分かれ討議が行なわれました。その中では、各地域の状況をふまえて、これからの青年活動のあり方はどうあるべきか等、具体的な提案が出され活発な意見が交換されました。

青年会活動の意義と役割では、青年会は働く青年によって構成されている集団であり、青年の願いと要求が会活動の目的になり、それが結局青年の生活を高めてゆく事にならなければならぬ事が多くの青年の口から聞かれた。そして、会活動においては、自己の信念を進んで発言、表現し、たえず自己を磨くことが大切であることも確認された。

また、青年会活動の不活発な現実についての討論では、その原因が、リーダーの学習不足にあり、活動の実践においては青年会活動の目的と目標の混同があることが指摘された。

目的と目標は、その違いをはっきり知るべきで、青年会活動のある限りその目的は変わる事なく、目的達成の道具として目標がある事を学びました。

青年会活動に対する甘い観念を捨て「何のため」という問に対して、自己啓発、他への奉仕といった概念を持っているが、それは二次的で、

それ以前の「何のために教養や奉仕が必要であるか」を埒りさげて、今一度考え直し、自分自身の中にある信念を持って参加しなければならぬと思います。

ところで信念と言えば、自分を含めて多くの人が信念に欠けているのではないだろうか。

あらゆる活動において、各個人の強い信念を持つことがより重要であり、信念があれば必然的に学習意欲も湧き当然のことながら青年会活動も活発になるのではないかと思う。

先きに青年会活動の低迷のことでリーダーの学習不足の指摘がなされたが、リーダーの役割上、あるべき態度について、本村の新川社会教育主事が「ベル」で詳しく説明されました。

いわゆるリーダーには、一食べる(欲求)、二しゃべる(討議)、三調べる(調査)、四くらべる(比較)五さしるべる(奉仕)の五つのべるの必要であり、それをふまえた上でプログラムを始めるべきであると説明された。

さらに活動する上でリーダーは一人である、他人にまかせな、いいかっこするな、さじを投げるなと話され僕たち研究生に多くの示唆

を与えてくださいました。

その後、団体の学習活動の企画の展開として、団活動の具体的な要項作成をしました。

始めての経験なので、その難しさに悩んだ。その反面、僕自身の内に今後青年会活動に意欲的に参加したい情熱が燃えて来ました。

その後、研修会は今年度の国内研修生の報告があり北海道班、福岡班では、本村の城間さんと宮平君が研修生を代表して報告しました。

発表の中で、特に目立ったことはあらゆる青年活動と教育施設が本土に比べ沖縄は大幅遅れているという意見でした。

西原村の場合も大きく遅れている点ではその例にもれず、一日も早く社会教育施設の建設、整備を図り、青年会をはじめ、各民主団体が活発に活動出来る様、考えて欲しいと痛感しました。

レクレーションも大変楽しかったが、まだまだ村に持ちかえって、教えることの出来る自信はなく、そのことが不満と言えは不満。

静かな北部の山の中で、こうした盛沢山の研修内容を体験出来たことは、僕の青春の一ページを有意義なものにしてくれました。

貯金通帳の盗難に御用心

盗難届は すぐ郵便局へ

郵便貯金通帳が盗まれて、預金者の知らない間に貯金が払いもどされる事件は、昭和四十九年度上半期(四月〜九月)の半年間に沖縄で四件六七万円余りにのぼっている。

郵政省では、お客さまの貯金をま

もるため、盗難通帳に対しては、郵便局で払渡し警戒をし、また郵政監察官が犯人の検挙に当たっている。

この種の犯罪が多発する歳末をひかえ、特にお客様に対し貯金通帳の盗難防止、盗難にあった場合の早期

届出などを郵政省では次のようによびかけている。

「印鑑と通帳は別の場所に…」
貯金の払いもどしには、通帳に押してある印鑑が正本人であること証明する最大の証拠である。

この大事な印鑑を通帳と一緒に盗まれたものが十五件(三三%)にもなっている。通帳と印鑑は別に保管しておくのが安全である。なお通帳の記号、番号等は、新年の家計簿等にひかえておくと、届出が早くできて便利である。

「盗難届は、すぐ郵便局へ」

トラの子の通帳と印鑑を盗まれても郵便局に届出をしない人が多い。犯人を検挙したとの連絡を受けてはじめて盗難に気付いたものもある。少しでも早く郵便局に届け出る

ことが大切である。

「郵便局では警戒している」

郵便局では、お客さまから盗難届をうけると、相互に連絡しあい被害にかからないように警戒をする。

「心にも備えを」

通帳の盗難は、預金者の「自宅」が二四件(五三%)で最も多く、ついで車中、宿舍等が十一件(二五%)勤務先、携行中が各五件(各十一%)である。この種の犯行は、現場が荒らされていないため、本人は払いもどされていても気付かないことが多い。更に最近では、払いもどしをしたあとで、もとどおり通帳を返しておくとという巧妙な手口のものも見受けられる。住まいの戸締りとともに、心の備えも大切である。



ゴミ・し尿処理の料金について

ゴミ、し尿の処理料金がまだ村民のみなさんに充分知られていないようです。

▲ゴミの場合は委託をされた沖繩バックス社(電話〇九八八―五四―二六三)が毎週一回各部落をまわり収集を行なっています。

料金は毎月一世帯、一五〇円で三カ月に一回集金人がみなさんの家庭へ徴収にうかがいます。

事業所関係のゴミは一月九〇〇円です。

▲し尿の場合は、本村の場合、次の二人の方と委託契約を結んでおりますので、必要の際は電話で御利用下さい。

・玉那覇善一：電話三四一六

・大城 哲：電話(呼び出し)

〇九八八―五五―一九三二(中村明光宅)

処理料金は、一斗缶約二本分(約三五リットル)で五〇円です。

ゴミ、し尿等は長くためることなく早目、早目に処理してもらい生活

新春マラソン への案内

環境の衛生化につとめましょう。
お宅の家の清潔さが村の輝きにも県の輝きにも…なります。

新しい年の昭和五〇年に、走りぞめとして、第二回新春マラソン大会を村青年連合会では計画しております。

年令を問いません。

男子が約七キロメートル、西原村役場↓徳佐田入口(折り返し地点)西原中学校(折り返し地点)女子が西原村役場↓西原中学校(折り返し地点)で行ないます。

スタートが午前八時、西原村役場前。

時間を厳守し、新しい年に、力強いスタートをしようではありませんか。

村青年連合会では、青年はもとより、より多くの村民が参加するよう呼びかけております。

▲一月の行事案内▼

一日(水)：新春マラソン大会

(第二回)午前八時、村役場前スタート

四日(土)：新春名刺交換会

(村役場主催)

午後二時、村役場ホール

八日(水)：乳児相談 午後二時～四時 公看室於

十二日(日)：DPT、第二回目

三カ月～三才までのまだ受けていない幼児。

午前九時～十一時 村役場ホール

十五日(水)：成人式―村教育委員会主催 対象者にはハガキで連絡

二十二日(水)：乳児相談(一才未満の育児相談)午後一時～四時 公看室於

二十七日(月)：三才児検診―満三才になった幼児をお医者さんが検診します。受付は午前十二時～午後二時まで行ないます。場所は西原村役場ホール。

二十九日(水)：乳児相談(一才未満の育児相談)午後一時～四時まで公看室於

●毎週水曜日午前中、公看室において血圧測定をしています。御希望の方は是非御利用下さい。

